



TITLE:

まとめ

AUTHOR(S):

渡辺, 千明

CITATION:

渡辺, 千明. まとめ. 2014: 共同研究（一般研究集会）26K-08.

ISSUE DATE:

2014-11

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/196313>

RIGHT:

2014年11月17日(金)
京都大学防災研究所共同研究一般研究集会

伝統木造建物の耐震性評価方法の 画一化に向けた研究集会 まとめ

秋田県立大学木材高度加工研究所
渡辺 千明



主旨説明: 多幾山(首都大)
地域固有の構造仕様を反映した耐震性評価方法の画一化

× 全建物において同一の計算

○ 地域特性を反映した手法: 構造調査項目
調査や耐震性評価の際の留意点
将来の目標

パネルディスカッション 五十田(京大) 目前・少し先・ずっと先

①建物構法調査

地域の違い: 構法・社会状況・自然環境 ←分類と対策

評価手法の統一: 地域特性? 構法特性? 材料特性?

性能評価のためには実務につながる具体的設計

...実験・データベース公開・類型化←解説・教育

②地震動確定

ハザードとその対策の整理: 倒壊のメカニズム評価
安全性の判断

③非破壊調査

常時微動 有効性の共通認識

劣化調査 課題多い

④フロアから

伝統木造の定義

社会的コンセンサス

蛇足

- ・個有知を共有知に: 研究者 所有者・施主ほか実務者 行政
- ・地域社会の実情 住まい手・建築材料・技術
- ・何(どこ)を残す? 文化財 観光地 建築文化
地域のアイデンティ

